

## 節電要請期間の終了についての会頭コメント

結果的に計画停電や深刻な需給ひっ迫の事態もなく、この夏を乗り越えることができ、安堵している。京都経済界としては、大飯原発3・4号機が稼働したことにより、安定的な電力供給が受けられたと認識している。加えて、平成22年度比で10%以上もの節電につながったのは、家庭・業務・産業の各部門において、節電の意識が高まり、省エネに積極的に取り組んだ結果である。

節電の呼びかけにご協力いただいた事業所には御礼申し上げたい。電力消費を減らしながらも、成長を実現する持続可能社会の実現に向けて、さらなる技術革新や節電意識が浸透することを期待したい。

今冬、来夏以降の電力需給についても、引き続き注視せざるを得ないが、政府には、安全性の確保を大前提に、経済活動に支障のないよう、安価で安定的な電力供給体制を早急に確立するよう強く要望する。

以 上

平成24年9月7日

京都商工会議所  
会頭 立石 義雄